

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 8日は、発達した低気圧がオホーツク海を北東に進み、高気圧が本州付近を東へ移動する。
- 9日は、前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近に進み、10日にかけて日本海を発達しながら北東に進む。
- 11日は、低気圧はさらに発達してオホーツク海へ進み、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 12日は、高気圧が日本海から北日本付近に移動する。前線が大陸から西日本付近にのびる。

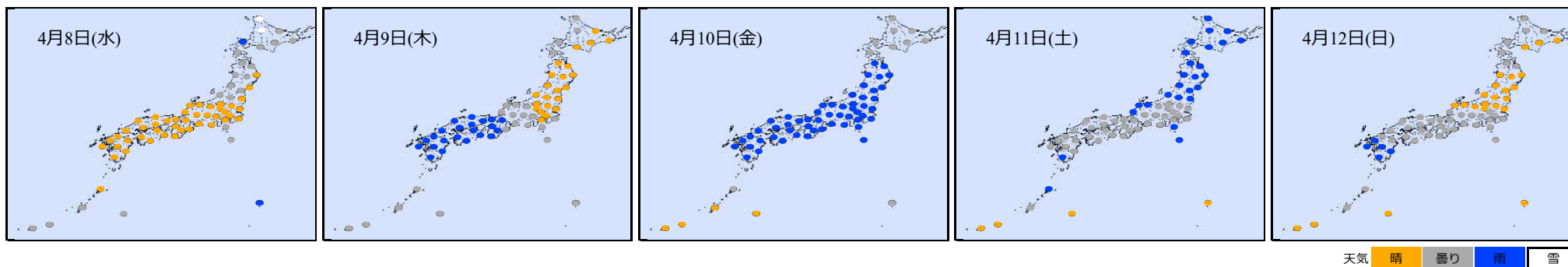
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 8日にかけて、オホーツク海へ進む低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなるおそれがある。
- 9日から10日頃にかけて、低気圧が発達しながら日本海を進むため、北日本から西日本にかけて荒れた天気となる見込み。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

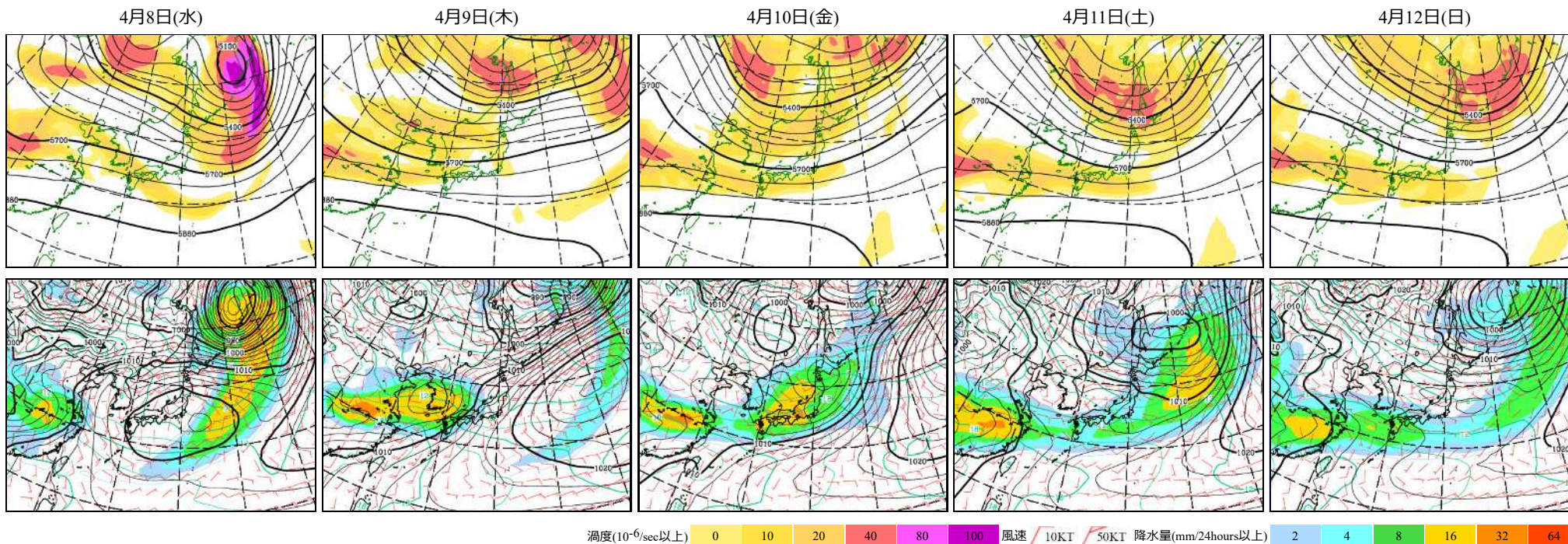
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

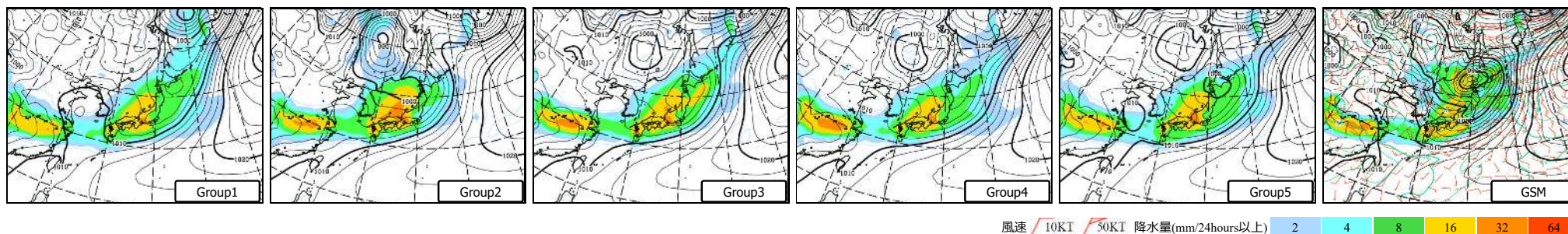


- 北日本は、雲が広がりやすく雨または雪の降る所があるが、9日と12日は晴れる所が多い。
- 東日本は、8日は晴れる所が多い。その後は雲が広がりやすく、10日は広い範囲で雨が降る見込み。
- 西日本は、8日は晴れる所が多いが、その後は曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りまたは晴れる日が多いが、11日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月10日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、9日から10日にかけて、千島の東でリッジが強くなった。11日は、北日本にトラフが進む予想になった。地上の気圧配置は、10日は低気圧が北日本付近に進み、11日にかけてオホーツク海に進む予想になった。
- 各モデルともに10日に日本海に進むトラフの予想が初期値変わりしているが、モデル間の差は小さい。
- 10日は、GSMは日本海北部、ECMとNCEPは日本海中部に低気圧を予想している。ENSにはそれぞれのモデルに近いメンバーの他に低気圧を太平洋側に予想するメンバーも含むため、ENS平均では低気圧は北日本付近に予想されている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。